NEC

ディスプレイテレビ　型名 PC-TV351

キャビネット色は、ベージュホワイトとシルバーメタリックの２色があります。

《ご使用の前によくお読みいただき、正しくお使いください。》

（リモコン送信器）
キャビネット色に対応して
２色あります。

取扱説明書

日本電気ホームエレクトロニクス株式会社

目次

別冊……「カラーテレビの正しい使いかた」
別紙……「NECサービス所在地一覧表」

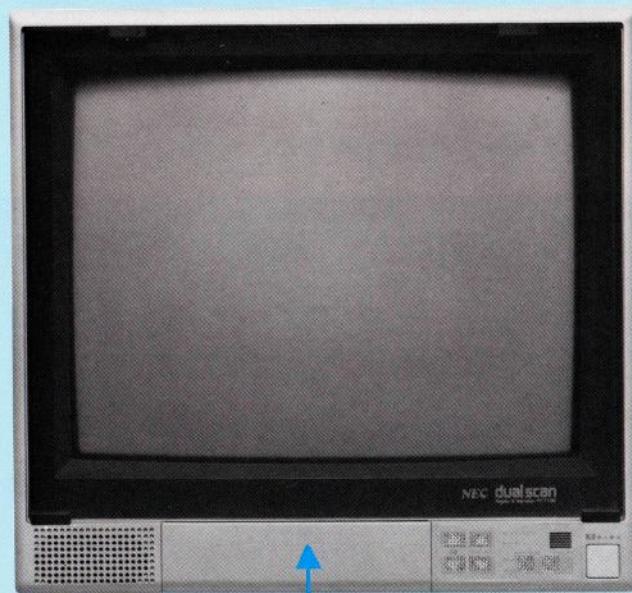
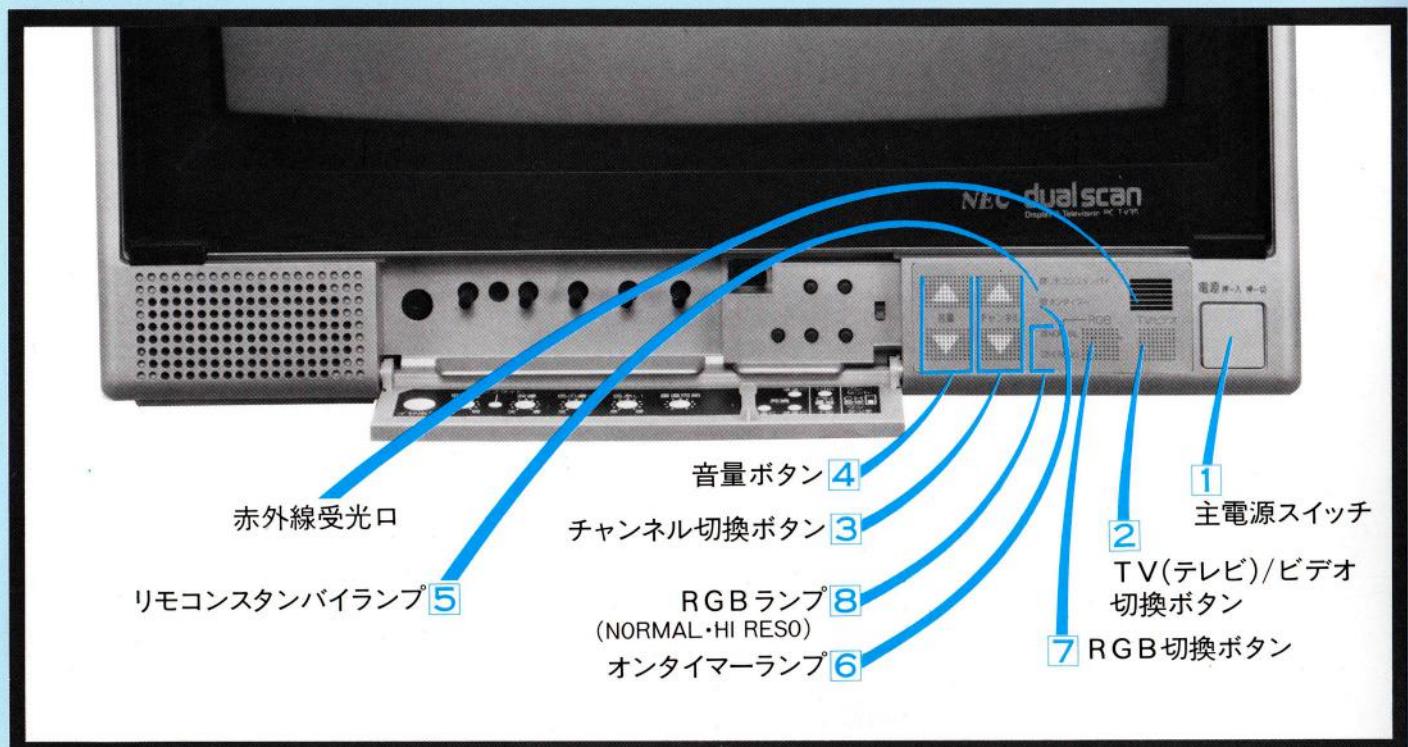
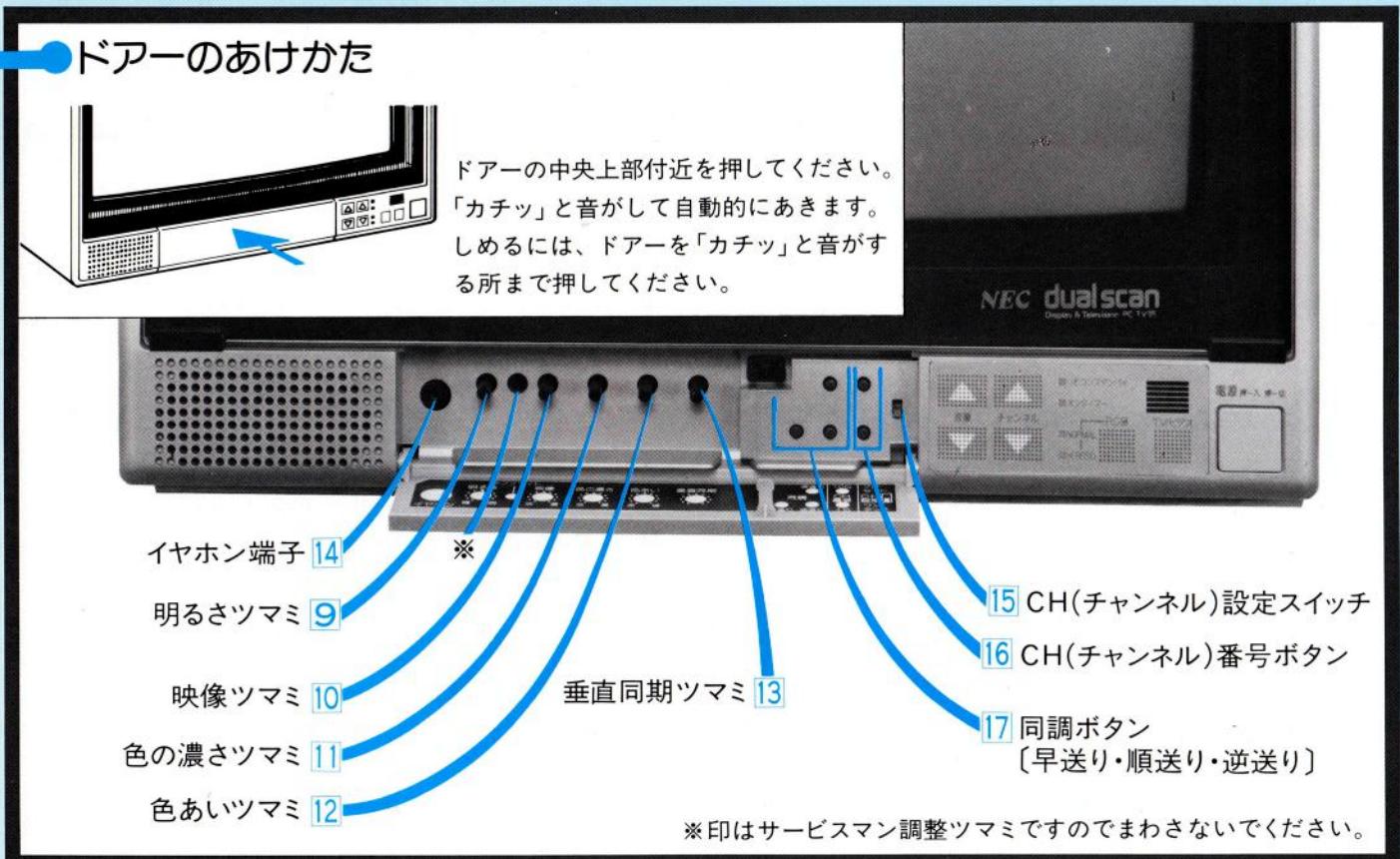
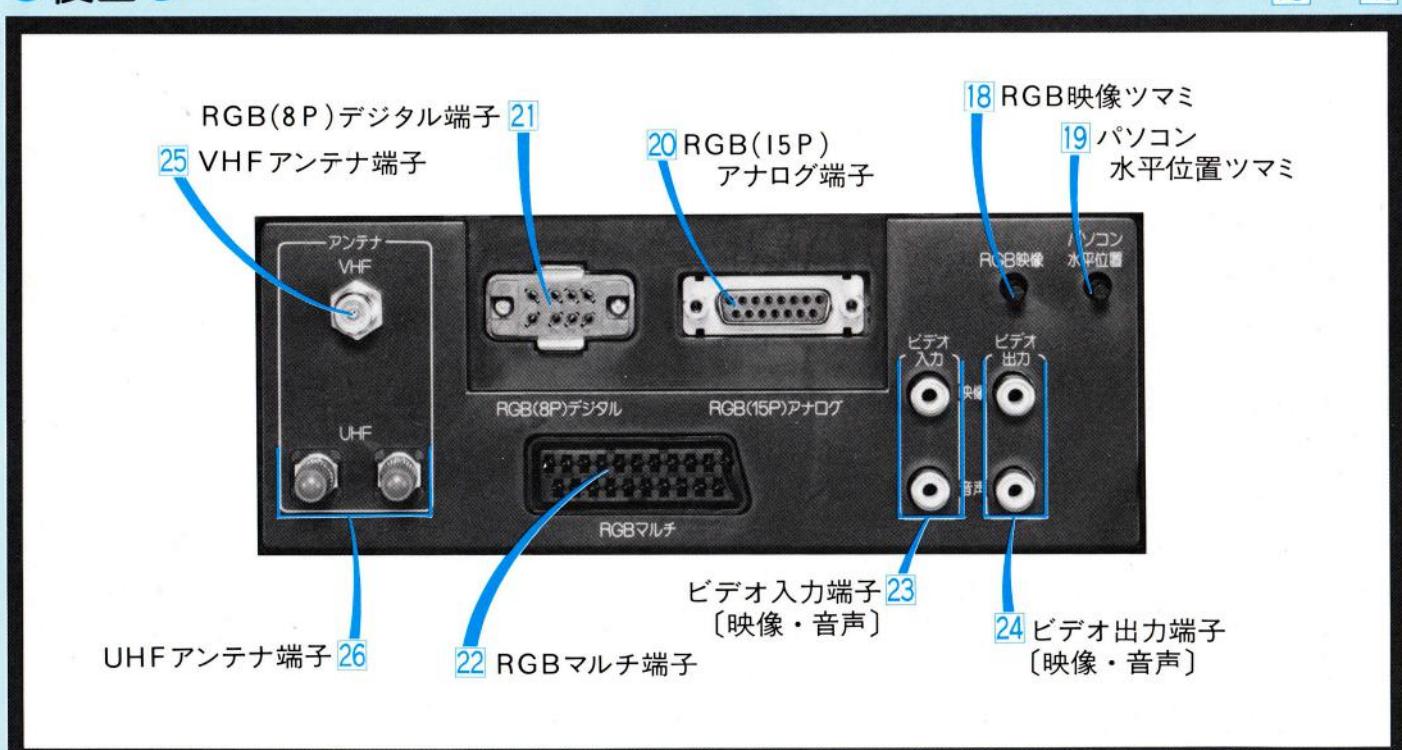
ご あ い さ つ

このたびは、NECディスプレイテレビPC-TV351をお買いあげいただき、ありがとうございました。

ご使用の前に、本品の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この「取扱説明書」と別冊の「カラーテレビの正しい使いかた」を最後までお読みください。

そして、必ず保存してください。万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

なお、保証書はお買いあげの販売店で必ずお受取りください。

特長

- 0.4㎜ピッチ(実使用4050文字対応)15型中解像度角型コーナーブラウン管の採用
- 標準(NORMAL)・高解像度(HI RESO)ディスプレイモード自動切換機能付
  (標準(NORMAL)時………水平15.75KHz　垂直60Hz
  高解像度(HI RESO)時………水平24.83KHz　垂直55.4Hz、56.4Hz)
- RGB(8P)デジタル端子付
  (デジタルRGB出力端子(TTL)付パーソナルコンピュータのディスプレイ用端子)
- RGB(15P)アナログ端子付
  (アナログRGB出力端子(75Ω)付パーソナルコンピュータのディスプレイ用端子)
- RGBマルチ端子付
  (キャプテンシステム、文字放送等のニューメディア対応21ピンマルチ端子)
- オンスクリーン表示(チャンネル番号、ビデオモード、音量、タイマー時間等を画面上に表示)
- 多機能リモコン (10ファンクション・23ボタン)
- オフタイマー、オンタイマー予約チャンネル機能付
  (希望の時刻に電源を切り(最大2時間50分)、希望の時刻に電源を入れ
  (最大12時間50分)目的のチャンネルが予約できます。)
- 映像・音声入・出力端子付
  (VTR、ビデオディスクプレーヤー、ビデオカメラ、ビデオモニタ等との映像・音声接続用端子)
- くし形フィルタ回路付 (明るく解像度が良い画像の再生)
- スモークドフィルタの装備 (外光反射の影響を少なくする働き、取り外し可能)

ご注意とお願い

- 万一、ディスプレイテレビに異常があるとき(音はでるが画面が映らない、煙が出る、変な音やにおいがするなど)は、ただちに電源差込みプラグをコンセントから抜いて、異常が継続しないことを確認してから販売店、またはNECサービス窓口にご連絡ください。
  そのままご使用になりますと、故障の範囲を大きくしたり、思わぬ事故の原因になることがあります。
  (なお、NECサービス窓口は別紙「NECサービス所在地一覧表」をご覧ください。)
- 裏ぶたは絶対はずさないでください。内部に高電圧が発生している箇所があり危険です。
- 外出などで長時間テレビをご覧にならないときは、節電のため本体の主電源スイッチを切ってください。
- 外部機器と接続するときは、外部機器の説明書もよくお読みください。

各部の名称（ディスプレイテレビ本体）

●前面●

1～8

音量ボタン 4

赤外線受光口

チャンネル切換ボタン 3

リモコンスタンバイランプ 5

RGBランプ 8
(NORMAL・HI RESO)

オンタイマーランプ 6

1 主電源スイッチ

2 TV(テレビ)/ビデオ切換ボタン

7 RGB切換ボタン

9〜17

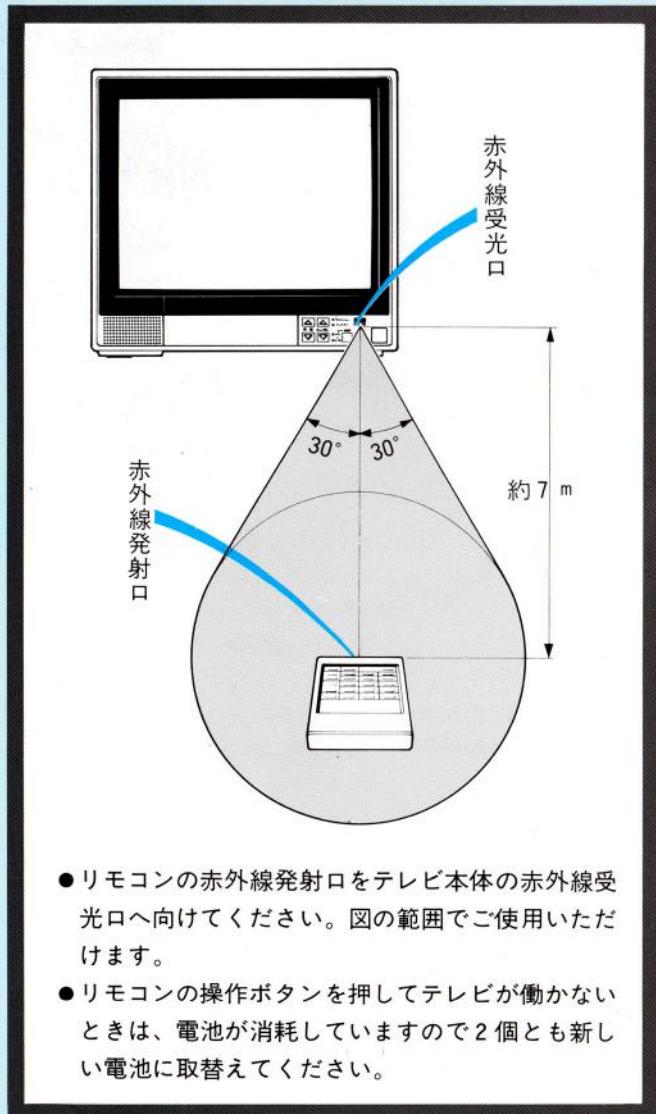
●ドアーのあけかた

ドアーの中央上部付近を押してください。「カチッ」と音がして自動的にあきます。しめるには、ドアーを「カチッ」と音がする所まで押してください。

イヤホン端子 14
※
明るさツマミ 9
映像ツマミ 10
色の濃さツマミ 11
色あいツマミ 12
垂直同期ツマミ 13
15 CH(チャンネル)設定スイッチ
16 CH(チャンネル)番号ボタン
17 同調ボタン
〔早送り・順送り・逆送り〕

※印はサービスマン調整ツマミですのでまわさないでください。

●後面●

18〜26

リモコンご使用の前に

●リモコンの使える範囲●

●リモコンの赤外線発射口をテレビ本体の赤外線受光口へ向けてください。図の範囲でご使用いただけます。

●リモコンの操作ボタンを押してテレビが働かないときは、電池が消耗していますので2個とも新しい電池に取替えてください。

▶使用上のご注意◀

●テレビ本体の赤外線受光口に直射日光や強い照明の光が当っているとリモコンが動作しにくくなることがあります。このようなときは、照明またはテレビの向きを変えてください。

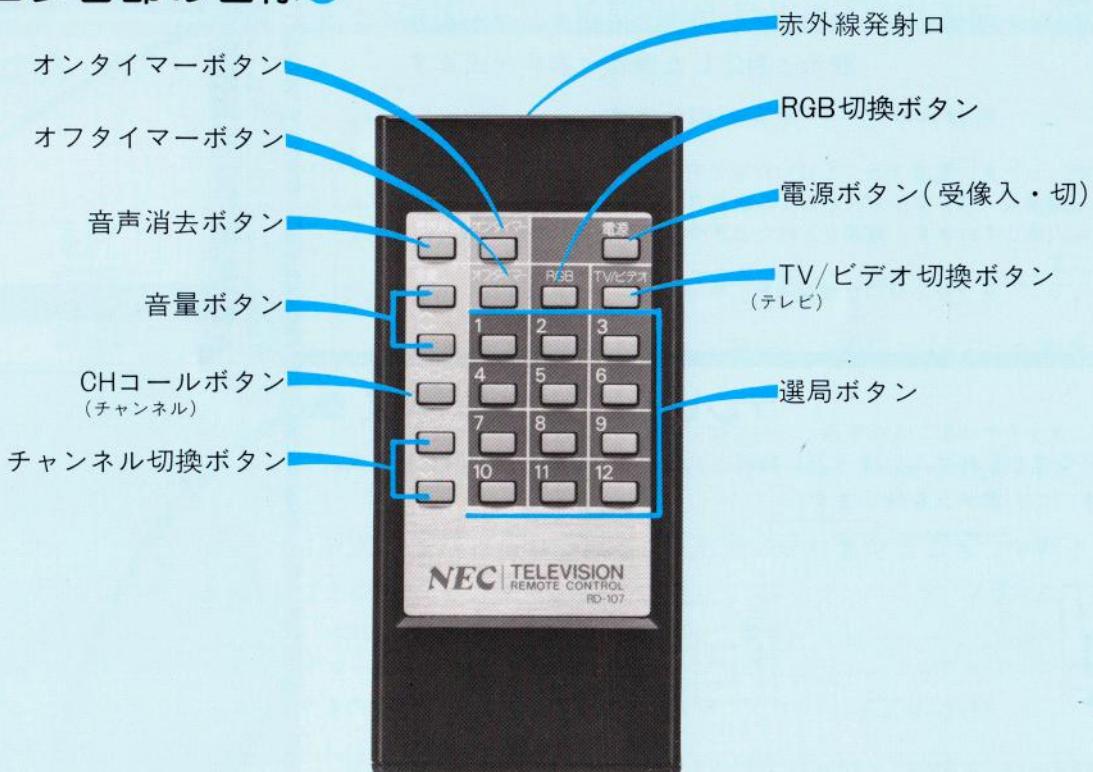
●リモコンに強い衝撃を与えないでください。

●高温・多湿の場所をさけ、水などがかかった場合はすぐにふきとってください。

●長期間ご使用にならないときは、リモコンの電池を全て取り出しておいてください。

▶初めてお使いになるときは、添付の乾電池を入れてください。

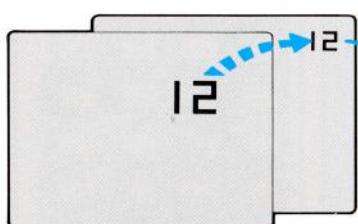
●乾電池の取替えかた●

▼電池は、1.5V単3乾電池(型名UM-3)を2個お使いください。

1 リモコンの裏側の電池ふたを指で軽く押しながら引いてはずし、電池を取り出してください。

2 ケース内部の表示通りに⊕、⊖の向きを正しく入れてください。

逆に入れますとリモコン操作ができなくなりますのでご注意ください。

▶電池使用上のご注意◀

電池を誤って使用すると液が漏れて故障の原因となったり、電池が破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

●電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを器具の表示どおり正しく入れてください。

●新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。

●電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

●電池には充電式と充電式でないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

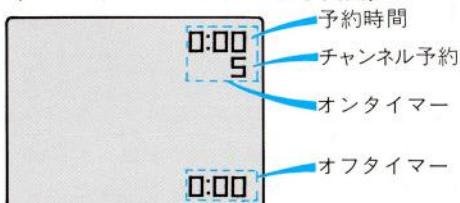
●使えなくなった電池はすぐ取出して処分してください。

●電池のショート、分解、加熱、火の中への投入をしないでください。

●リモコン各部の名称●

●チャンネルコールボタンの働きと表示画面●

〔テレビ/ビデオ表示画面〕

12 → 12

- テレビの時 チャンネル番号表示 (みどり色)
- ビデオの時 [V] 表示(みどり色)

〔音量表示画面〕

〔オンタイマー・オフタイマー表示画面〕

▶テレビモードの［チャンネル番号］や、ビデオモードの[V]表示を消したり、表示させたりするときこのボタンを使います。ボタンを押すごとに入→切とくり返し切換わります。

チャンネルコール「入」のとき……表示が残ります。

チャンネルコール「切」のとき……表示が消えます。

(本機の電源を入れたときチャンネルコールは「切」の状態になります。)

CHコール

押す

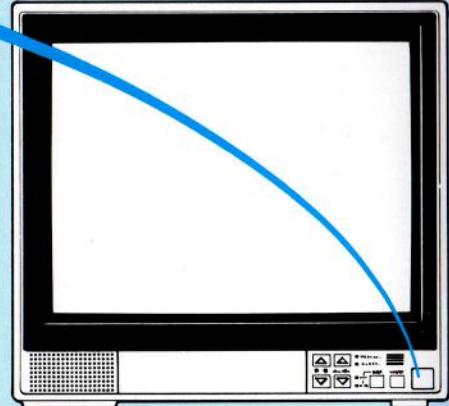
1．チャンネル番号やビデオ表示は、チャンネルを切換えたときや、チャンネルコール「切」→「入」へ切換えたとき、大文字表示（約3秒）→小文字表示と変わります。

2．音量表示は、チャンネルコールボタンには影響されず音量ボタンや音声消去ボタンを操作をしたときしばらく表示して消えます。
このとき、チャンネルやビデオ表示は消えます。
オンタイマー表示は、オンタイマーボタンを操作したとき、オフタイマー表示はオフタイマーボタンを操作したときしばらく(約3秒)表示して消えます。

3．オンタイマー、オフタイマー表示中は他の画面表示は消えます。

4．RGBモード時は、チャンネルコールは動作しません。

リモコンの使いかた

▼リモコンご使用の前に主電源を入れてください。

主電源の入・切

押すと……電源が入り画面右上に表示が出ると同時に表示と対応した画像と音声が出ます。

再び押すと……電源が切れます。

1.電源を切ったとき、電源プラグを抜いた場合や停電のときでも本機の操作ボタンの状態（電源入・切、テレビ・ビデオ・ＲＧＢ、チャンネル、音量）を記憶するメモリを内蔵しています。電源を入れたときや停電が復帰したときは前の状態で動作します。

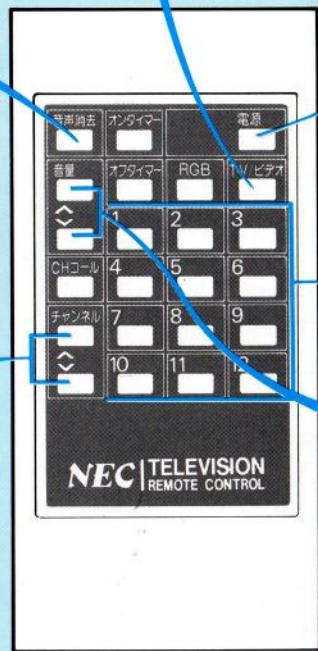
2.オンタイマー、オフタイマーは解除され、チャンネルコールは「切」の状態に戻ります。

テレビとビデオの切換え

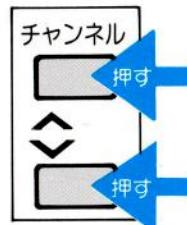
▶テレビ受像とビデオ入力端子23に接続されたＶＴＲ等の外部機器を切り換えるとき、このボタンを使います。

ボタンを押すごとにビデオ→テレビとくり返し切り換わります。

〔画面表示〕

ご注意 RGBモードをご使用中はビデオモードに切換わりませんのでＲＧＢボタンを押してTV/ビデオモードにしてください。なお、ビデオモードまたはＲＧＢモードのとき、選局ボタンを押すとテレビモードになり選んだチャンネルの番組が映ります。

音声消去ボタンの働き

▶電話がかかったときや、不意の来客などのときお使いください。

ボタンを押すと……音声が消え音量表示をあか色で表示し、約3秒後に表示が消えます。

再び押すと……もとの音量にもどりみどり色の音量表示に変わり、約3秒後に表示が消えます。

参考 音声が消えた状態で音量ボタンを押したとき、また電源を切った場合でも音声消去は解除されます。

チャンネル切換ボタンの働き

▶番組を早くさがすときこのボタンを使うと便利です。

「∧」側を押しつづけると1→2→……→12のポジション順にくり返し切り換わります。

「∨」側を押しつづけると12→11→……→1のポジション順にくり返し切り換わります。

本機には不要なチャンネルを飛び越すチャンネルポジションスキップ機能があります。チャンネル切換ボタンを押すと必要なチャンネルのみが順次切り換わりますので希望の番組を早くさがすことができます。設定のしかたは15ページをご覧ください。

●オンタイマー、オフタイマーボタンの使いかたは10〜12ページを、ＣＨコールボタンは6ページを、ＲＧＢ切換ボタンは17ページをご覧ください。

▼ふだんは❶～❸のボタン操作でテレビがご覧いただけます。

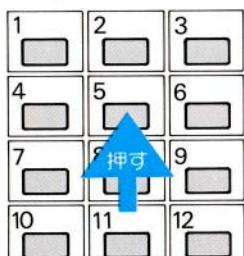
❶電源の入・切

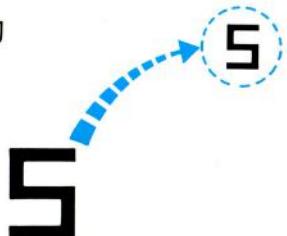
▶画面が出ている状態で

押すと………画像と音声が消えます。

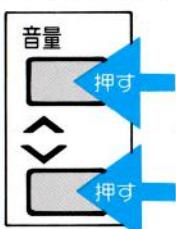
1. この状態では、わずかな電流が流れています。長時間の外出などのときは、主電源スイッチを切ってください。
2. ビデオまたはＲＧＢモードのとき、リモコンで電源を切ると一瞬テレビの画像が出ますが故障ではありません。

再び押すと………画面右上に表示が出ると同時に、表示と対応した画像と音声が出ます。

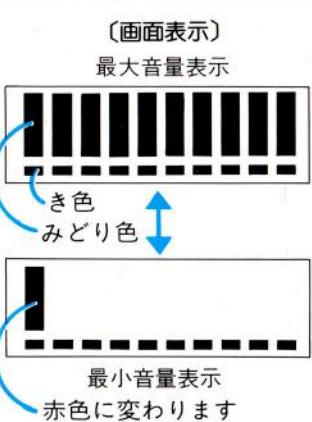
参考　オンタイマー、オフタイマー設定をすると、設定時間に電源の入・切ができます。くわしくは10～12ページ「オンタイマー、オフタイマー・チャンネル予約設定のしかた」をご覧ください。

●リモコンスタンバイランプ5とオンタイマーランプ6について

■リモコンスタンバイ　▶リモコンの電源ボタンで電源を切ったときリモコンスタンバイランプ5が点灯しリモコンスタンバイ状態(待機状態)であることを知らせます。

■オンタイマー　▶オンタイマーを設定するとオンタイマーランプ6が点灯し、オンタイマーがセットされていることを知らせます。リモコンで電源を切っても点灯しつづけます。

❷チャンネルの切換え

▶ご希望の選局ボタンを押してください。画面右上にチャンネルを表示し画面が切換わります。

1. ビデオモードまたはＲＧＢモードで使用中、テレビ番組をご覧になるときは、選局ボタンを直接押してください。希望のチャンネルに切換わります。(テレビモードに切換えなくても自動的にテレビになります。)
2. [0] チャンネルを画面表示したときの画面は、チャンネル切換ボタン操作時の飛び越し記憶をさせたチャンネルです。

(チャンネルコール「入」のとき表示が残り「切」のとき消えます。)

❸音量の調整

▶テレビの音量を調整するボタンです。ボタンを押すと音量の大きさを画面左下に表示します、ボタンを離すとその後約３秒間表示しています。(チャンネルコールボタンには影響されません)

「︿」側を押しつづけると音量表示が増え音量が大きくなります。

「﹀」側を押しつづけると音量表示が少なくなり音量が小さくなります。

〔画面表示〕

最大音量表示

最小音量表示

赤色に変わります

(この表示のときは音が出ません)

参考　●電源を入れたときは、電源を切ったときの状態の音量で音が出ます。
●音量は10ステップで表示しますが実際の音量はこまかく変化します。

▶お好みの画像に調整するには９ページ「画像の調整」の項をご覧ください。

ご使用のしかた（ディスプレイテレビ本体各部の操作）

●画像の調整

▶テレビ・ビデオの画像の調整はこのツマミで調整します。

●ツマミを右または左へまわして調整します。

9 明るさツマミ

画面の明るさを調整するツマミです。通常、右または左へまわして中央の「カチッ」とする所でご覧ください。

明るさ

暗くなります。

明るくなります。

10 映像ツマミ

コントラストと色の濃さを調整するツマミです。

映像

淡くなります。

濃くなります。

11 色の濃さツマミ

色の濃淡を調整するツマミです。

色の濃さ

淡くなります。

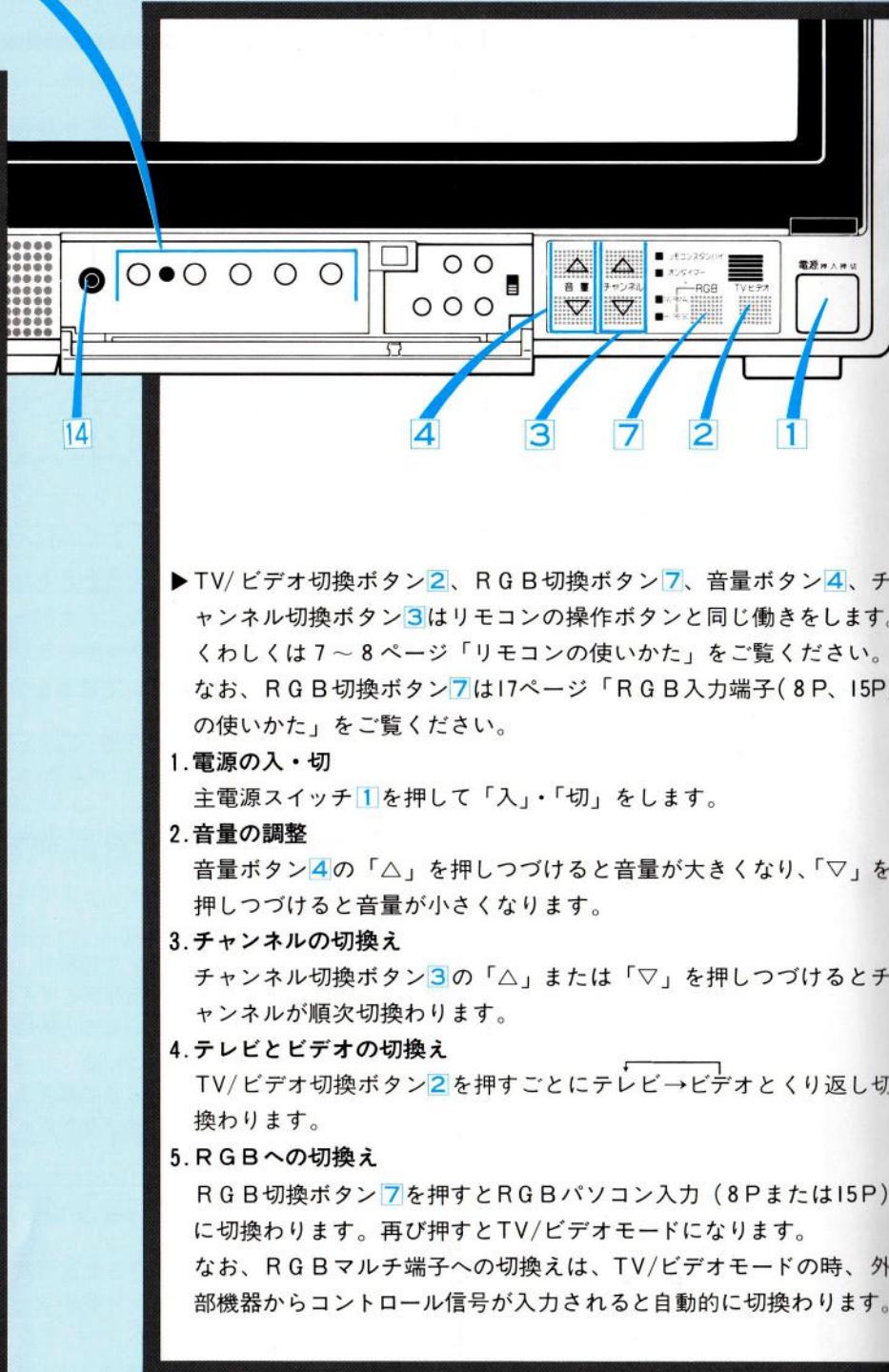
濃くなります。

12 色あいツマミ

色あいを調整するツマミです。

色あい

赤みがかります。

緑がかります。

13 垂直同期ツマミ

画面が上下に流れたときは、このツマミをゆっくり右または左へまわして画面を静止させてください。

垂直同期

●リモコンの電池が消耗したとき、テレビ本体側で操作するとき……

▶TV/ビデオ切換ボタン2、RGB切換ボタン7、音量ボタン4、チャンネル切換ボタン3はリモコンの操作ボタンと同じ働きをします。くわしくは7～8ページ「リモコンの使いかた」をご覧ください。
なお、RGB切換ボタン7は17ページ「RGB入力端子(8P、15P)の使いかた」をご覧ください。

1. 電源の入・切

主電源スイッチ1を押して「入」・「切」をします。

2. 音量の調整

音量ボタン4の「△」を押しつづけると音量が大きくなり、「▽」を押しつづけると音量が小さくなります。

3. チャンネルの切換え

チャンネル切換ボタン3の「△」または「▽」を押しつづけるとチャンネルが順次切換わります。

4. テレビとビデオの切換え

TV/ビデオ切換ボタン2を押すごとにテレビ→ビデオとくり返し切換わります。

5. RGBへの切換え

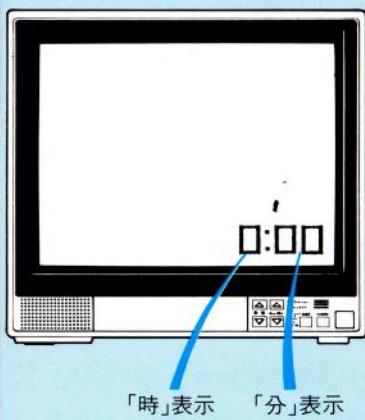
RGB切換ボタン7を押すとRGBパソコン入力（8Pまたは15P）に切換わります。再び押すとTV/ビデオモードになります。

なお、RGBマルチ端子への切換えは、TV/ビデオモードの時、外部機器からコントロール信号が入力されると自動的に切換わります。

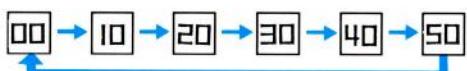
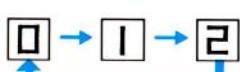
●イヤホン端子 14

イヤホン端子にイヤホンのプラグを差し込むとスピーカの音が消えイヤホンから聞こえます。

なお、イヤホンはインピーダンス8Ω～16Ωのマグネチック型をお使いください。

オフタイマー、オンタイマー・チャンネル予約設定のしかた（その1）

▶本機には電源を切る（ディスプレイテレビを消す）オフタイマーと電源を入れるオンタイマー機能があります。なお、オンタイマー機能はチャンネルの予約ができます。
例えば、現在「5」チャンネルの番組を楽しんでいるとき、1時間50分後の「2」チャンネルのニュースをご覧になりたいときのチャンネル予約や、テレビを見ながらお休みになるとき、30分後に電源を切って9時間後に電源が入り、「1」チャンネルの番組が映るようにすることができます。

●オフタイマー設定のしかた●

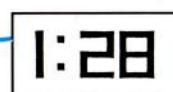
▶オフタイマーボタンは設定をしたときから何時間後に電源を切るかを予約する働きがあります。なお本機は最大2時間50分のオフタイマー設定ができます。

〔オフタイマー表示画面〕

オフタイマーボタン

■時間設定のしかた

1 オフタイマーボタンを1回押します。オフタイマー表示が画面右下に赤色で 0:00 と表示します。（「0：00」表示以外のときは、解除のしかたをご覧いただき「0：00」にしてください。）「0：00」を表示中に次の操作をしてください。（約3秒後に表示は消えます。）

2 オフタイマーボタンを押しつづけます。「分」表示が10分刻みで00→10→…→40→50とくり返し切換わりますので希望の所で指を離します。表示中に3の操作をしてください。（約3秒後に表示は消えます。）

押しつづける……「分」設定

3 オフタイマーボタンを小刻みに押します。一回押すごとに「時」表示が0→1→2とくり返し切換わります。希望の「時」を出します。

小刻みに押す……「時」設定

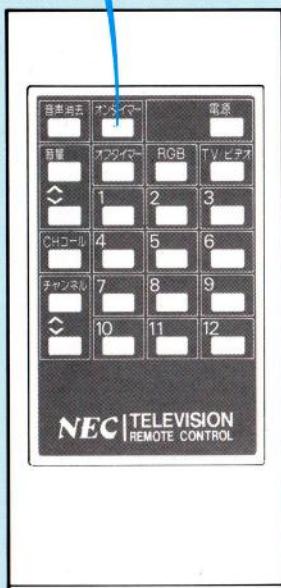
※約3秒後に表示が消えて、消えると同時にオフタイマー時間がセットされます。
（変更するときは、一度解除してから設定しなおしてください。）

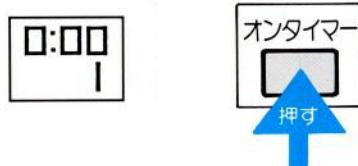
■残り時間表示のしかた

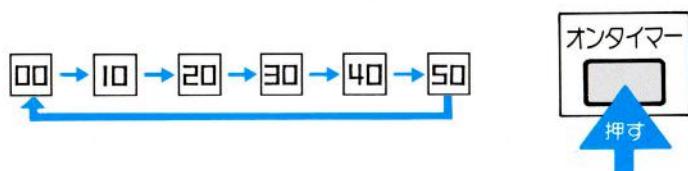
▶オフタイマーボタンを1回押します。画面右下に赤色で残り時間を約3秒間表示します。なお、残り時間は1分刻みで表示します。

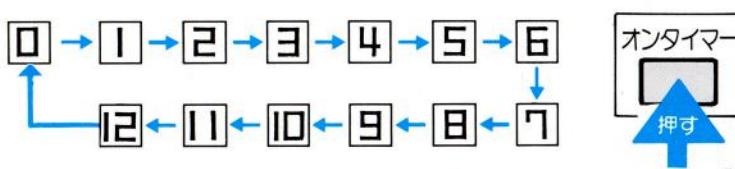
▶電源を切る時間（オフタイマー設定時間）の5分前になると自動的に 0:05 を表示して知らせます。

■オフタイマー解除のしかた

▶オフタイマーボタンを1回押します。画面右下に残り時間を表示しますので、表示中にもう1度オフタイマーボタンを押すと表示は 0:00 に変わりオフタイマーは解除されます。

▶主電源スイッチ、リモコンの電源ボタンを使って電源を切ると自動的にオフタイマーは解除されます。

オフタイマー、オンタイマー・チャンネル予約設定のしかた（その2）

●オンタイマー・チャンネル予約設定のしかた●

▶オンタイマーボタンは、設定をしたときから何時間後に電源を入れ何チャンネルの番組を映すかのオンタイマー機能そして何時間後にチャンネルを切換えるかのチャンネル予約機能の2つがあります。
なお、本機は最大12時間50分のオンタイマー設定ができます。

■時間設定・チャンネル予約設定のしかた

1 オンタイマーボタンを1回押します。オンタイマー表示が画面右上に黄色で［0:00 1］と表示します。下の数字は「0：00」のときは受像中のチャンネルを表示し、時間設定中は予約チャンネルが表示されます。
（「0：00」表示以外のときは、解除のしかたをご覧いただき「0：00」にしてください。）

「0：00」を表示中に次の操作をしてください。(約3秒後に表示は消えます。)

2 オンタイマーボタンを押しつづけます。「分」表示が10分刻みで00→10→…→50とくり返し切換わりますので、希望の所で指を離してください。
表示中に3の操作をしてください。(約3秒後に表示は消えます。)

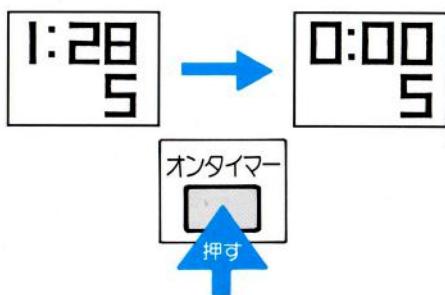
押しつづける……「分」設定

3 オンタイマーボタンを小刻みに押します。一回押すごとに「時」表示が0→1→2→…→12とくり返し切換わりますので希望の「時」を出します。

小刻みに押す……「時」設定

4 約3秒後に表示が消えて、消えると同時にオンタイマー時間がセットされます。
▶チャンネルを予約する場合には、表示中に選局ボタンを使って希望のチャンネルを出します。
▶選局ボタンを押さないときは、設定中のチャンネルが予約されます。
（オンタイマーを設定すると、オンタイマーランプ6が点灯しつづけます。このランプはリモコン側で電源を切ったときも点灯しつづけます。）

ご注意 オンタイマーを設定して、電源を切ったとき設定時間に電源が入りますが、電源が入ってから約2時間ボタン操作をしない時は（音量調整やチャンネル切換操作など）電源が自動的に切れます。(リモコン待機状態になります。)

残り時間表示のさせかた

▶オンタイマーボタンを１回押します。画面右上に黄色で残り時間と予約チャンネルを約３秒間表示します。なお、残り時間は１分刻みで表示します。

オンタイマー解除のしかた

▶オンタイマーボタンを１回押します。画面右上に残り時間を表示しますので、表示中にもう一度オンタイマーボタンを押すと表示は 0:00 に変わりオンタイマーは解除されます。

▶主電源スイッチ1で電源を切ると自動的にオンタイマーは解除されます。

（時間を変更するときは一度解除してから設定しなおしてください。）

オフタイマーとオンタイマーの組合わせかた

使用例

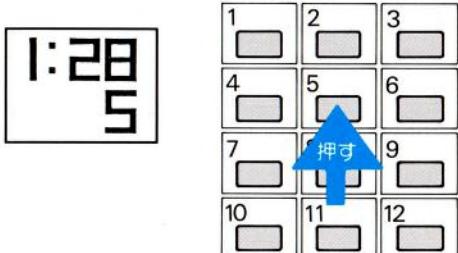
▶現在が午後の９時（設定時刻）とします。１時間30分後（10時30分）に電源を切り、10時間後（朝の７時）に電源を入れて１チャンネルが映るように設定します。

オフタイマー設定

1 オフタイマーボタンを押します。オフタイマー表示(画面右下)が 0:00 になっていることを確認します。表示が出ている間に次の操作を行います。

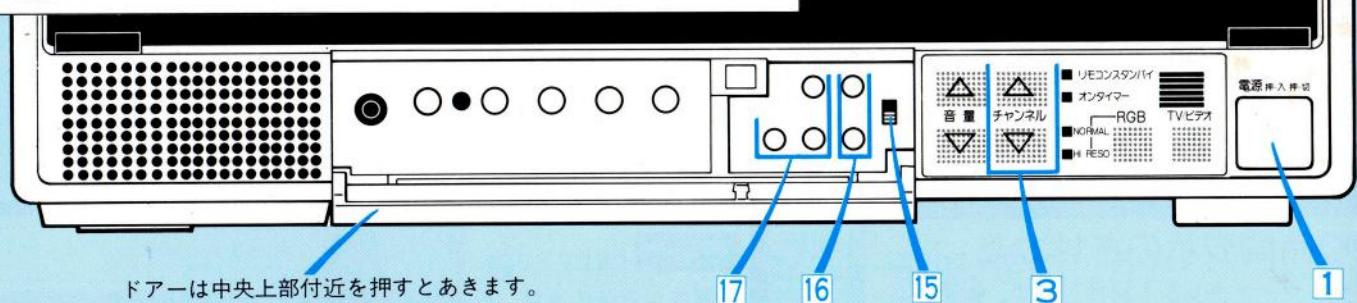
（もし、オフタイマー表示がある時間に設定している時は、オフタイマー解除操作をして「0：00」表示にしてください。）

2 オフタイマーボタンを押しつづけて 0:30 を出します。次にオフタイマーボタンを一回押して 1:30 表示にします。

（約３秒後に表示が消えて１時間30分が設定されます。）

オンタイマー・チャンネル予約設定

3 オンタイマーボタンを押します。オンタイマー表示(画面右上)が 0:00 になっていることを確認します。表示が出ている間に次の操作を行います。

（もし、オンタイマー表示がある時間に設定している時は、オンタイマー解除操作をして「0：00」表示にしてください。）

4 10時間後をオンタイマー設定しますので「分」設定行なわず、「時」設定のみ行います。オンタイマーボタンを10回押して、10:00 を出します。表示が出ている間に次の操作を行います。

5 リモコンの選局ボタンの「１」を押してチャンネルを予約します。

（約３秒後に表示が消えて、10時間後の「１」チャンネルの予約が終わりました。）

チャンネル番号の合わせかた（記憶のしかた）

●本機は工場出荷時に1～12チャンネルに合わせてあります。UHF放送をご覧になるときや、転居等で放送局のチャンネルが変わったとき等は、次の順序でチャンネルを合わせてください。

※チャンネルポジションについて

本機はチャンネルを12放送局分記憶できます。記憶させる場所をチャンネルポジション番号と呼びます。チャンネル切換ボタン3はこの番号順にくり返し切換わります。リモコンの選局ボタンではこのチャンネル番号を呼び出すことになります。

1 電源スイッチ1を押して電源を入れてください。

●テレビモードにしてください。

例 と表記している説明文と図は、チャンネルポジションの「5」を選んだとき、UHF放送の38チャンネルを受像させるときの操作例です。

〔チャンネル設定モードでの画面表示〕

チャンネル番号表示（緑色）

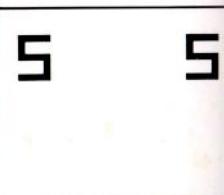
チャンネルポジション番号表示（赤色）

プレセット

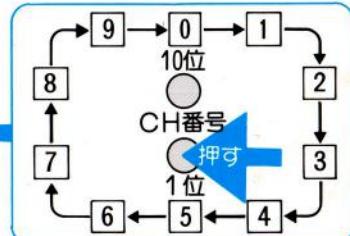
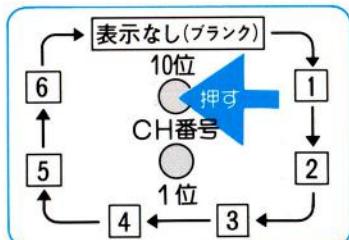
CH.設定

ワンタッチ

2 CH設定スイッチ15を「プレセット」側に切換えます。

画面表示がチャンネル設定モードに切換わり、チャンネルポジション番号が表示されチャンネル番号表示が点滅します。

参考 プレセットモードの時、TV／ビデオ切換ボタン2、RGB切換ボタン7、音量ボタン4は働きません。また、このモードの時オンタイマー、オフタイマーは働いていますが、設定はできません。

3 これから記憶させるチャンネルポジション番号を画面表示させます。

チャンネル切換ボタン3を使って記憶させるチャンネルポジション番号になるまで押しつづけます。

リモコンの選局ボタンでは目的の番号を押します。

例 チャンネルポジション番号の「5」が出るまでチャンネル切換ボタンを押しつづけます。

4 チャンネルポジション番号(画面左上に表示)へこれから記憶させる放送局のチャンネル番号を画面右上に表示させます。

▶CH番号ボタン16の（10位）と（1位）を使います。ボタンは押すごとに図のようにかわります。

例 （10位）ボタンを3回押して 3 を出し、（1位）ボタンを3回押して 8 を出します。

5 表示させたチャンネル番号の画像を出します。

1

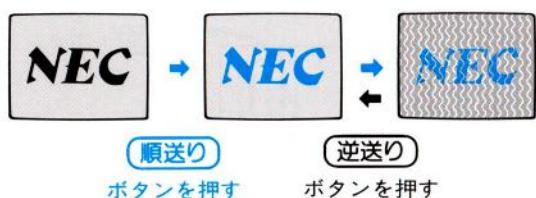
同調ボタン17の（順送り）または（逆送り）を押して目的の画像を出します。
なお、（早送り）ボタンを使うと早く調整できます。

本機のバンド切換え（ＶＨＦ放送、ＵＨＦ放送）は、合わせようとするチャンネル番号を画面表示させたとき、チャンネル番号に対応したバンドへ自動的に切換わります。チャンネル番号表示とバンドは次のようになります。

１～３を表示させたとき……ＶＨＦ放送低バンド
４～12を表示させたとき……ＶＨＦ放送高バンド
13～62を表示させたとき……ＵＨＦ放送バンド

（順送り）または（逆送り）ボタンを押すと、このバンド範囲をくり返しますので、例えば「６」のチャンネル番号を表示させてＵＨＦ放送を受信することはできません。そのときは13～62のチャンネル番号を出します。

例　（早送り）ボタンを押しながら、（順送り）ボタンを押しつづけて38チャンネルの画像が出たとき指を離します。指を離したとき38チャンネルの画像が通りすぎたときは、（逆送り）ボタンを押してもどし、画像を出します。

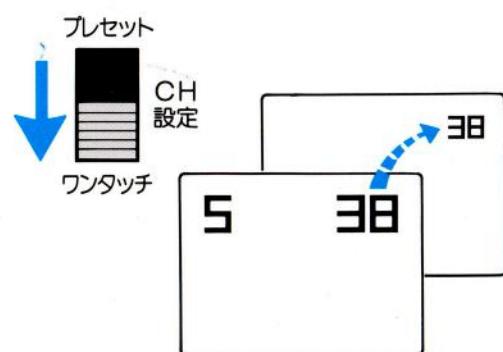
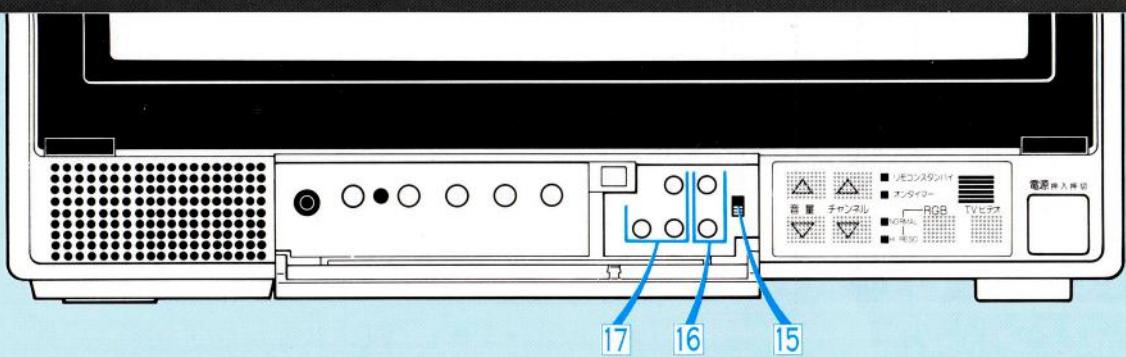
☆新聞等のテレビ番組表を参考に番組を確認します。

5　38
（38チャンネルの画像を出します）

2

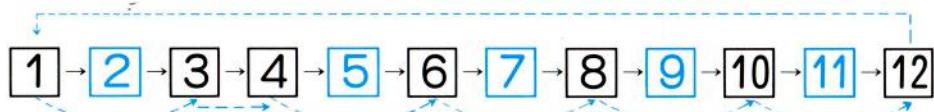
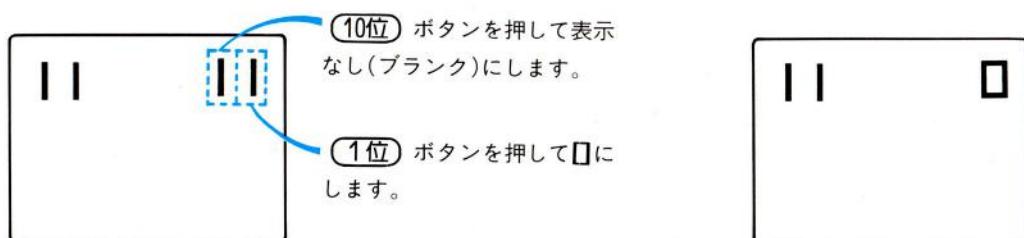
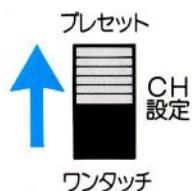
（順送り）または（逆送り）ボタンを押して目的の画像を最良の状態に微調整します。このとき、ボタンを小刻みに押すと合わせ易くなります。

例　白黒画像から→カラー画像→カラー画像にギザギザ模様が少し入るまで（順送り）ボタンを押し、次にギザギザ模様が消える所まで（逆送り）ボタンを小刻みに押すと美しいカラー画像に調整できます。

（順送り）ボタンを押す　（逆送り）ボタンを押す

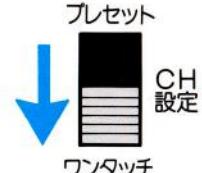
● これで目的のチャンネルが記憶されました。他のチャンネルポジションへも同じ要領で記憶させます。
（本機は（順送り）または（逆送り）ボタンから指を離すと自動的に記憶します。）

6 ＣＨ設定スイッチ15をワンタッチ側へ切換えます。

ワンタッチ側へ切換えるとチャンネルポジション番号が消え、チャンネル番号の表示も消えます。チャンネルコール「入」のときはチャンネル番号が残ります。

参考　ＣＨ設定スイッチ15がプレセット側にあるときは電子同調が解除されています。

●空チャンネルポジションスキップ機能について

▶空チャンネルポジションスキップ機能とは、チャンネル切換操作を行ったとき、スキップ記憶させたチャンネルポジションを自動的に飛び越す働きをします。

例　下図のようにチャンネルポジション番号2、5、7、9、11をスキップ記憶させたとき、チャンネル切換ボタンの（へ）を押すと点線で示したポジション番号順に切換わります。

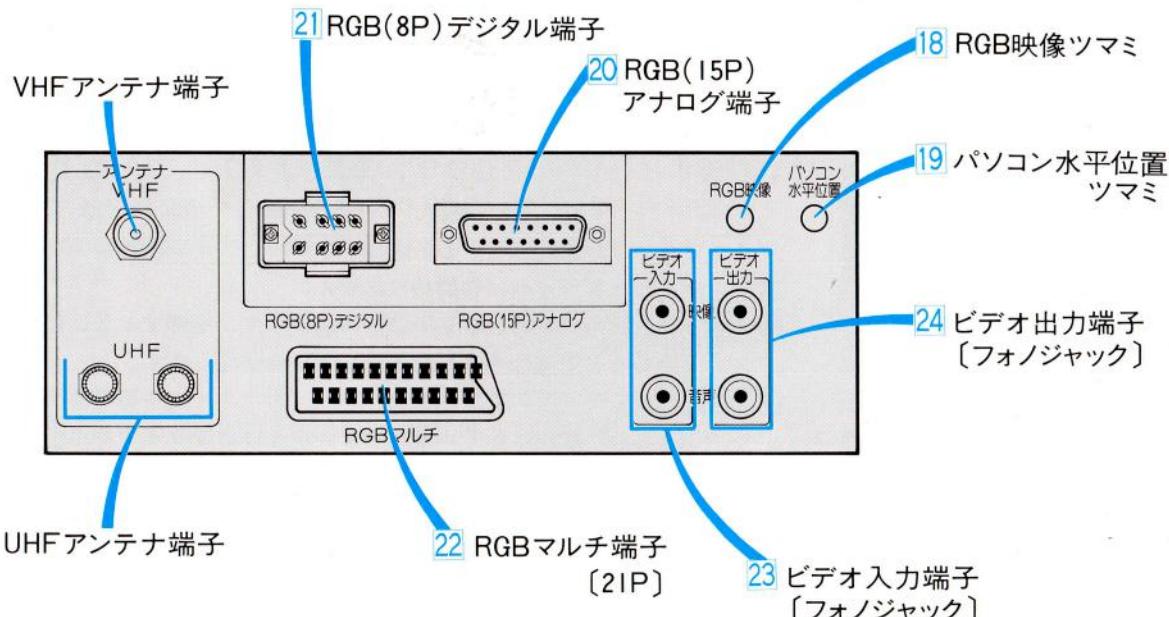
1→2→3→4→5→6→7→8→9→10→11→12

■記憶のしかた

1 CH設定スイッチ15をプレセット側に切換えます。画面表示はチャンネル設定モードに変わります。

2 チャンネル切換ボタン3を使ってスキップ（飛び越し）記憶したいチャンネルポジションを選びます。

3 CH番号ボタン15の（10位）、（1位）を使って［□］を表示させます。

4 （順送り）ボタンまたは（逆送り）ボタンを押してください。スキップチャンネルを記憶します。

5 CH設定スイッチ15をワンタッチ側に切換えます。
チャンネルポジション番号表示が消えてスキップ記憶が終わります。

▶スキップ記憶が終りましたらチャンネル切換ボタンを押して確認してください。

▶スキップ（飛び越し）させたチャンネルポジションに再びチャンネルを記憶させるには13、14ページの2～6の順序で新しく記憶させてください。

参考　選局ボタンを使ってスキップ記憶したチャンネルポジション番号を押すと、チャンネルは□を表示しますが受信はしません。

入出力端子の使いかた

▶本機は、通常のビデオ入・出力端子とRGB(8P)デジタル端子、ニューメディア対応のRGB(21P)マルチ端子、そしてアナログRGB出力端子を備えたパソコンと接続できるRGB(15P)アナログ端子があり、本機をディスプレイとして多用途にお使いいただけます。

●端子板各部の名称●

▶お願いとご注意◀

▶接続の前にそれぞれの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく接続してください。
▶各機器の主電源スイッチを必ず切ってから接続してください。
▶接続端子の名称は機器によって異なる場合もあります。
　例　映像＝ビデオ、VIDEO　　音声＝オーディオ、AUDIO
▶接続コードは各端子専用のコードをご使用ください。
▶21ピン専用ケーブル（CA—53）につきましては、お買いあげの販売店にご相談ください。
▶キャプテンターミナルの設置は必ず専門の電気店にご依頼ください。

●RGBパソコンディスプレイ画像の調整●

▼ツマミを右または左へまわして調整してください。

18 RGB映像ツマミ

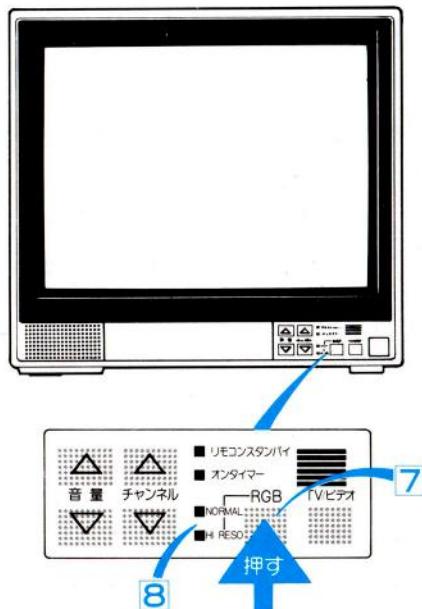
RGBパソコンモードとRGBマルチモードの映像ツマミです。お好みにより調整してください。

19 パソコン水平位置ツマミ

RGBパソコンモード専用の水平位置ツマミです。画像が右または左へずれているときは、このツマミをまわして調整します。

水平位置

左へ移動します

右へ移動します

※垂直同期ツマミ13の使いかたは9ページ「画像の調整」をご覧ください。

●RGB入力端子(8P、15P)の使いかた●

▶RGB(8P)デジタル端子はTTL RGB出力端子を備えたパソコン、RGB(15P)アナログ端子はアナログRGB出力端子(75Ω)を備えたパソコンと接続して本機をカラーディスプレイとしてご使用いただけます。

■RGBパーソナルコンピュータへの切換え

▶パソコンと組合わせたとき、パソコン側に切換えるときＲＧＢ切換ボタン7を使います。(リモコンのＲＧＢ切換ボタンも同じ働きをします。)

ボタンを押すと……ＲＧＢパソコン入力に切換わり、ＲＧＢランプ8の「NORMAL」(標準) または「HI RESO」(高解像度) のいづれかが点灯します。

再び押すと…………ＲＧＢランプ8が消えＴＶ／ビデオ切換ボタン2で選んでいるモードへ切換わります。

(ＲＧＢランプが点灯しているときは、ＴＶ／ビデオ切換ボタンを押してもテレビまたはビデオへは切換わりません。)

参　考　ＲＧＢモードのときリモコンの選局ボタンを押すとテレビ画面に切り換わると同時に押されたチャンネルを受信します。

ご注意　ＲＧＢモードのときオンタイマー、オフタイマー等の画面表示はしませんが、動作はしていますので、例えばオフタイマーボタンを誤まって押すとオフタイマーが設定されたり、または解除したりしますのでご注意ください。

▶RGB入力自動切換えとRGBランプ8について

ＲＧＢ入力の水平周波数が15.75KHzのときは「NORMAL」ランプが点灯し、24.83KHzのときは「HI RESO」ランプが自動的に点灯して知らせます。

参　考
- ●ＲＧＢ(８Ｐ)デジタル入力端子21またはＲＧＢ(15Ｐ)アナログ端子20と接続したパソコンが標準ディスプレイモードの水平周波数の場合は「NORMAL」ランプが点灯し、高解像度ディスプレイモードの場合は、「HI RESO」ランプが点灯します。
- ●ＲＧＢ(８Ｐ)デジタル入力端子21とＲＧＢ(15Ｐ)アナログ端子20へパソコンを各々同時に接続しているときは、パソコンの電源の「入」「切」に関係なくＲＧＢ(15Ｐ)アナログ端子20が優先されます。

■お願いとご注意

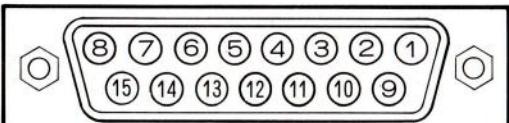
▶接続の前にパソコンの取扱説明書をよくお読みください。パソコンによっては信号名の呼び方が異なる場合があります。

▶パソコンの種類によってはＣＲＴインタフェース等を介して接続する機種や、使用できない機種もありますのでご注意ください。

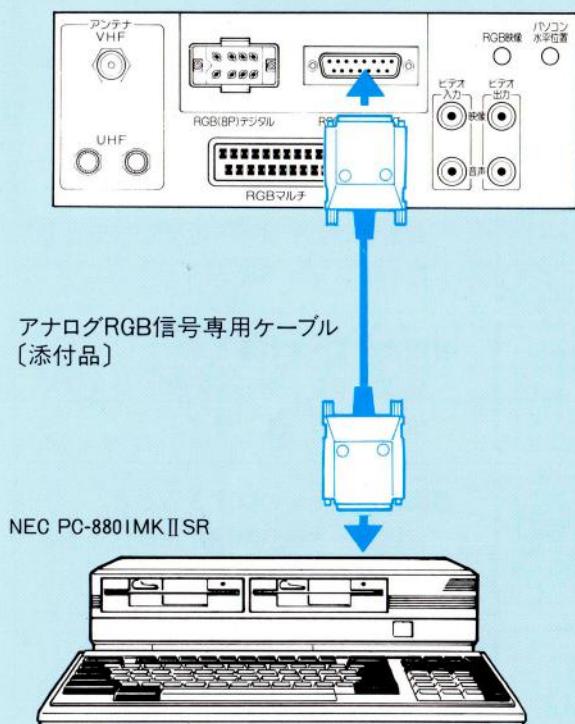
▶接続するときは必ず、本機とパソコンの主電源を切ってから行ってください。

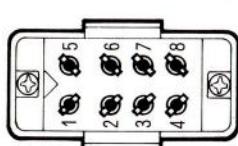
▶コンピュータの種類によって信号形式が異なりますのでデータ表示領域のサイズや、データ表示領域の位置がずれて表示する場合がありますが、本機の故障ではありません(推奨入力信号の項をご覧ください)。

▶ＲＧＢパソコン選択時には、垂直同期ツマミ、ＲＧＢ映像ツマミ、パソコン水平位置ツマミが使用できます。

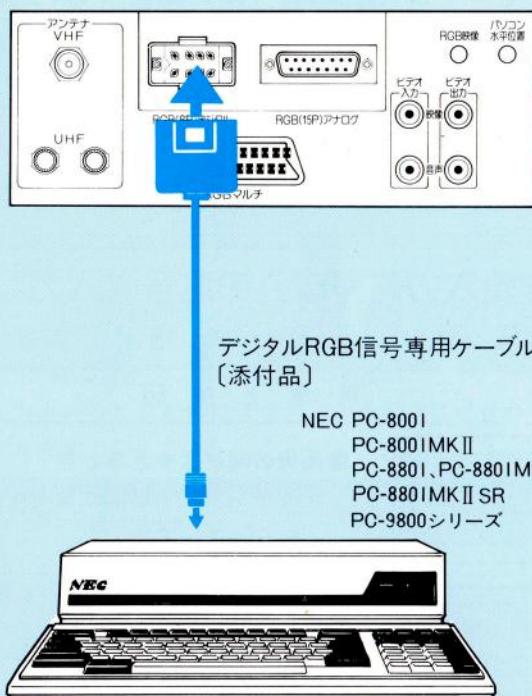
▶テレビやビデオをご覧になるときは、パソコンの電源を切ってください。コンピュータの種類によっては画質に影響することがあります。

■接続ケーブルについて

▶本機のＲＧＢ(15Ｐ)アナログ端子20とパソコンのアナログＲＧＢ出力端子との接続は添付のアナログＲＧＢ信号専用ケーブルをご使用ください。

▶本機のRGB(８P)デジタル端子21とパソコンのRGB出力端子との接続は添付のデジタルＲＧＢ信号専用ケーブルをご使用ください。

■RGB(15P)アナログ端子20

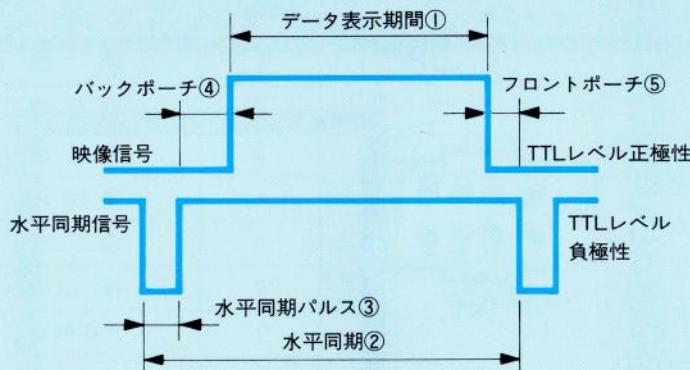
▶RGB(15P)アナログ端子配列

端子番号	信　号　名	
1	赤映像信号入力	(RED VIDEO)
2	接　地	(GND)
3	緑映像信号入力	(GREEN VIDEO)
4	接　地	(GND)
5	青映像信号入力	(BLUE VIDEO)
6	接　地	(GND)
7	開　放	(NC)
8	ＰＣ検出	(SENSE)
9	開　放	(NC)
10	開　放	(NC)
11	開　放	(NC)
12	開　放	(NC)
13	開　放	(NC)
14	水平同期信号入力	(H.SYNC)
15	垂直同期信号入力	(V.SYNC)

▶接続例

本機のＲＧＢ(15Ｐ)アナログ端子20とパソコンのアナログＲＧＢ端子(ANALOG RGB)とを本機に添付のアナログＲＧＢ信号専用ケーブルを使って接続します。接続後は、コネクタのネジで固定します。

■RGB(8P)デジタル端子21

▶RGB(8P)デジタル端子配列

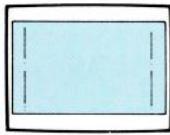
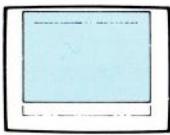
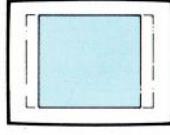
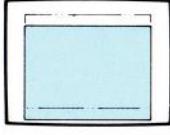
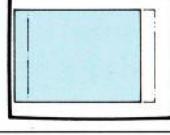
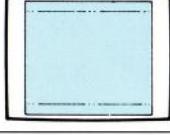
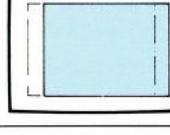
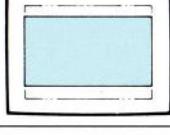
ピンコネクション	端子番号	信　号　名
	1	開　　放
	2	赤 映 像
	3	緑 映 像
	4	青 映 像
	5	接　　地
	6	接　　地
	7	水平同期
	8	垂直同期

▶接続例

本機のＲＧＢ(８Ｐ)デジタル端子21とパソコンのＲＧＢ出力端子（カラーディスプレイ用コネクタ）とを本機に添付のデジタルＲＧＢ信号専用ケーブルを使って接続します。

■推奨入力信号

▶水平同期期間

▶垂直同期期間

単位 μs

	①	②	③	④	⑤
高解像度モード時(24.83KHz)	30.4	40.28	3.04	3.80	3.04
標準モード時(15.75KHz)	44.7	62.58	4.47	9.50	3.91

単位 ms

	表示モード	①	②	③	④	⑤
高解像度モード時(24.83KHz)	25行	16.11	17.72	0.32	1.01	0.28
	20行	16.11	18.05	0.32	1.33	0.28
標準モード時(15.75KHz)	25行	12.52	16.03	0.5	2.07	0.94
	20行	12.52	16.28	0.5	2.32	0.94

■推奨入力信号以外の信号を入力した場合

ご注意 推奨信号以外の信号を入力しますと、画像が下図の現象になりますが、故障ではありません。

現象と原因	現象と原因
●画像の幅が広すぎるとき 水平データ表示期間が推奨信号値以上になっています。	**●画像が上へずれるとき** 垂直フロントポーチ期間が推奨信号値以上になっています。
●画像の幅が狭すぎるとき 水平データ表示期間が推奨信号値以下になっています。	**●画像が下へずれるとき** 垂直フロントポーチ期間が推奨信号値以下になっています。
●画像が左へずれるとき 水平フロントポーチ期間が推奨信号値以上になっています。(パソコン水平位置ツマミ19で調整してください。)	**●画像が上下にのびすぎるとき** 垂直データ表示期間が推奨信号値以上になっています。
●画像が右へずれるとき 水平フロントポーチ期間が推奨信号値以下になっています。(パソコン水平位置ツマミ19で調整してください。)	**●画像が上下に縮みすぎるとき** 垂直データ表示期間が推奨信号値以下になっています。
●画像が横しまになるとき 水平同期周波数が15.75KHz(標準モード時)または24.83KHz (高解像度モード時)になっていません。	**●画像が上下に流れるとき** 垂直同期周波数が60Hzまたは55Hzになっていません。(垂直同期ツマミ13で調整してください。)

▲画像の状態をわかりやすく説明した図です。

●RGBマルチ端子の使いかたとシステム例●

▶このRGBマルチ端子は、RGB入力、映像・音声入力、映像・音声出力用の21ピン接続端子を備えています。キャプテンターミナル、文字放送アダプタやパーソナルコンピュータ等と接続できるニューメディア対応端子です。

■RGBマルチ端子の働き 22

RGB入力端子群…………RGB（75Ω）出力端子を持ったパーソナルコンピュータや情報機器の信号を入力します。

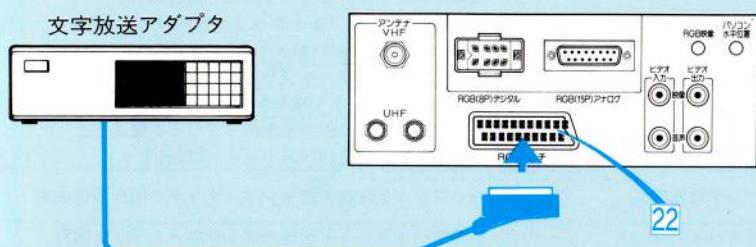
映像・音声入力端子群……情報機器の映像・音声の信号を入力します。

映像・音声出力端子群……テレビモードで受信中のチャンネルの映像・音声信号を出力します。

コントロール入力端子群…Y_M、Y_Sは文字放送、キャプテンターミナル等の切換え信号、AVは映像・音声入力端子群の切換え信号です。

▶RGBマルチ端子 22 の端子配列とインタフェース◀

端子番号	信号名
1	音声入力信号(左) 0.4Vrms 入力インピーダンス47kΩ
2	音声出力信号(左) 0.4Vrms 出力インピーダンス10kΩ
3	音声入力接地
4	音声出力接地
5	音声入力信号(右) 0.4Vrms 入力インピーダンス47kΩ
6	音声出力信号(右) 0.4Vrms 出力インピーダンス10kΩ
7	映像入力接地
8	映像出力接地
9	映像/同期入力信号　1Vp-p 75Ω負同期
10	映像/同期出力信号　1Vp-p 75Ω負同期
11	AVコントロール入力信号 低レベル0～0.4V_{DC} 高レベル3～5V_{DC} 入力インピーダンス22kΩ
12	Y_M入力信号 低レベル0～0.4V_{DC} 高レベル1～3V_{DC} 入力インピーダンス75Ω
13	赤(R)入力接地
14	Y_S、Y_M入力接地
15	赤(R)入力信号 0.7Vp-p 75Ω
16	Y_S入力信号 低レベル0～0.4V_{DC} 高レベル1～3V_{DC} 入力インピーダンス75Ω
17	緑(G)入力接地
18	青(B)入力接地
19	緑(G)入力信号 0.7Vp-p 75Ω
20	青(B)入力信号 0.7Vp-p 75Ω
21	ケース接地

▶RGBマルチ端子への切換え◀

- RGBマルチ端子 22 はテレビまたはビデオモードでご使用ください。（RGBランプ 8 を消した状態）
- キャプテンターミナル等の外部機器からAVコントロール信号が入力されると自動的にRGBマルチ端子に切換わります。このとき、画面表示はテレビまたはビデオモード時の表示ができます。

●文字放送アダプタ接続のしかた●

▶テレビ信号の画面と画面の間のすきまを利用して文字情報を送る放送を文字放送（文字多重放送）と言い、何種類かの文字放送番組（例えばニュースや天気予報等）から1つを好きなときに選び出してテレビ画面に映し出したり、テレビ番組の会話などを字幕スーパーとして映し出したりすることができます。本機と文字放送アダプタと組み合わせることにより文字放送が楽しめます。

接続 本機のRGBマルチ端子 22 と文字放送アダプタのRGBマルチ端子とを21ピン専用ケーブルを使って接続します。なお、本機はテレビまたはビデオモードでご使用ください。

ご注意 本機で再生されている文字放送画面は録画できません。

■キャプテンシステム端末装置接続のしかたと概要

▶キャプテンは、電話回線を利用して家庭や事務所の受信機と情報センターを結んで、利用者のリクエストに応じてセンターに蓄積されている情報を文字と図形で画面に映し出すシステムです。

■接続例

ご注意　キャプテンターミナルの設置・保守・移動は資格を持った人が行ないますので専門の電気店にご依頼ください。

接　続　本機のＲＧＢマルチ端子22とキャプテンターミナルのＲＧＢマルチ端子とを専用ケーブル（ＣＡ-53）を使って接続します。なお、専用ケーブルはお買い上げの販売店でお求めください。

参　考　●本機のＲＧＢマルチ端子22とキャプテンターミナルを接続し、本機のビデオ入力端子23へＶＴＲを接続した場合、ＲＧＢマルチ端子が優先しますので、ＶＴＲを使うときは、キャプテンターミナルの電源を切ってください。
なお、ＮＥＣキャプテンターミナルＮＴＸ-2000と組合わせたときはリモコンキーパッドの(テレビ)キーによって切換えができます。

●本機のビデオ出力端子24へは、キャプテンターミナルを使っているときは（ＡＶコントロール信号を本機へ入力しているとき）キャプテンの映像が出力され、キャプテンターミナルを使ってないときは（ＡＶコントロール信号を入力していないとき）本機のテレビまたはビデオの信号が出力されます。

▶キャプテンサービス内容◀

キャプテンはセンター（キャプテン情報センター、外部センター）と利用者との双方向性や個別選択性を活かした次のサービスが計画されています。

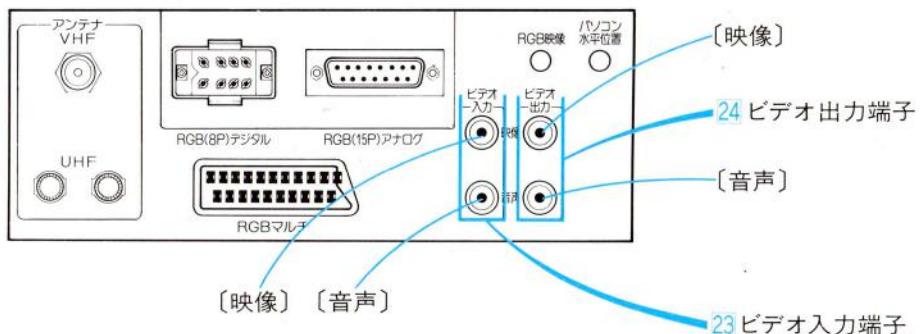
- **情報提供サービス**……センターのコンピュータにファイルされている新情報を利用者に提供します。
- **オーダーエントリーサービス**……利用者とセンターとの間で情報のやりとりができます。
- **クローズドユーザーサービス**……あらかじめ登録した利用者だけ特定の情報を提供します。
- **主なサービス**（バンキング・座席予約・宿泊予約・株式情報・ホームショッピング・教育　学習・各種案内・クイズゲーム　在庫管理・商品注文・売上通知・専門情報・クレジット業務・企業内連絡・広報　周知・テレソフトウェア）

▶キャプテンサービス地域計画◀

キャプテンシステムは昭和59年11月から商業用サービスが開始されました。サービス地域は次のように計画されています。

昭和59年11月 東京23区並びに周辺30km以内(八王子、相模原、横須賀、鎌倉を含む）と大阪市並びに周辺20km以内及び京都、神戸
昭和60年９月　　名古屋
昭和61年から：13大都市
昭和62年から：全国県庁所存地

（昭和59年９月１日現在）

▶キャプテンシステム端末装置の種別◀

キャプテン商用サービスは下表の端末装置が利用できます。第２ランが標準タイプとなります。なお、本機は第１、２ランクと第３ランクの高密度(２倍)ハイブリッド伝送方式に対応できるディスプレイです。

ランク	種　類　名	機　能　概　要
1 (最下位)	パターン伝送方式	文字・図形全てパターンで表示
2	ハイブリッド伝送方式	文字記号モザイクはコード方式で高速表示 図形はパターン(フォトグラフィック)方式で表示 表示密度は標準密度(縦204ドット×横248ドット)
3	高密度（２倍） ハイブリッド伝送方式	横方向表示密度がハイブリッド伝送方式の２倍の高密度（縦204ドット×横496ドット）
	高密度（４倍） ハイブリッド伝送方式	横方向と縦方向の表示密度ハイブリッド伝送方式の各２倍の高密度(縦408ドット×横496ドット)
4	コマンド伝送方式	ハイブリッド伝送方式＋ジオメトリック図形表示機能
5 (最上位)	高密度ハイブリッド コマンド伝送方式	高密度ハイブリッド伝送方式＋ジオメトリック図形表示機能

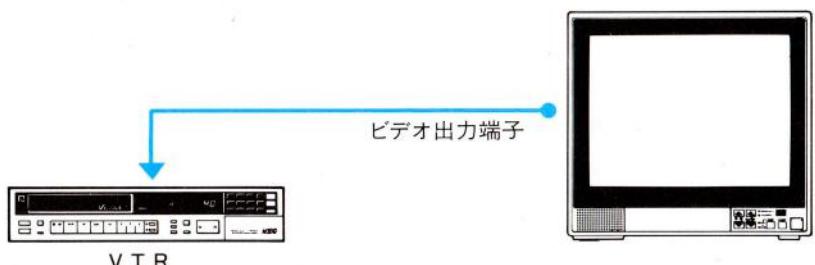
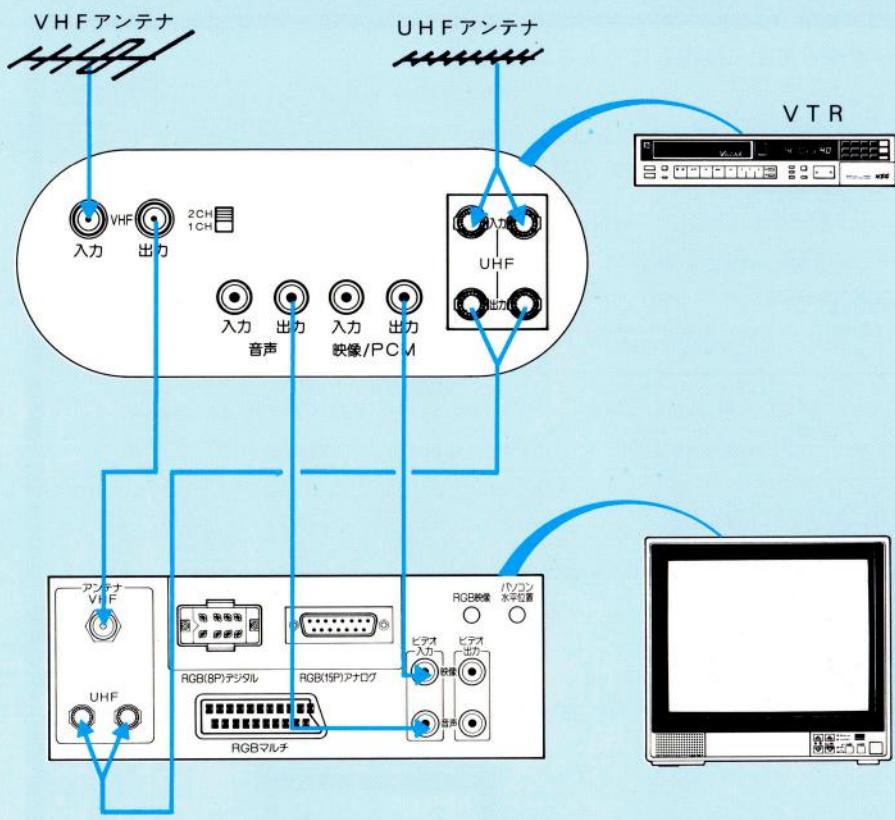
●ビデオ入・出力端子の使いかたとシステム例●

ご注意　接続の前にお互いの電源をかならず切ってから接続してください。

■ビデオ入力端子 23

用　途　ＶＴＲ、ビデオディスクプレーヤー、ビデオカメラやビデオ端子を備えたテレビゲーム等と接続し、本機で再生して楽しめます。

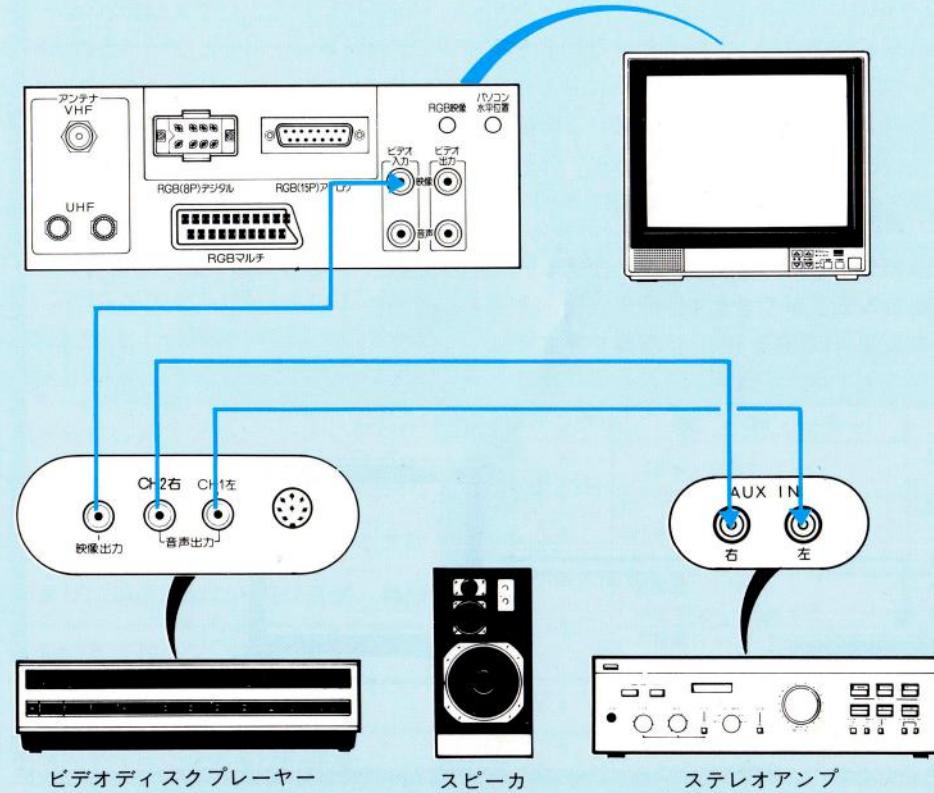
接　続　この端子と外部機器の映像・音声出力端子と接続します。

画面表示　ＴＶ／ビデオ切換ボタンを押してＶ表示(ビデオ)にします。

■ビデオ出力端子 24

用　途　本機の画面に映っている信号をこの端子から出力します。ＶＴＲに録画したり他のビデオモニタ等と接続して楽しめます。

接　続　この端子と外部機器の映像・音声入力端子と接続します。

出力信号　画面で再生中のテレビまたはビデオを出力します。ＲＧＢマルチ画面のときは、ＲＧＢマルチ端子の映像・音声入力信号のみ録画・録音することができます。
なお、ＲＧＢランプ点灯中の画面(ＲＧＢモード)は録画できません。

1 (本機)+(ホームVTR)

用途 同時に見たいテレビ番組が2つあるとき、一方の番組を見ながら、他局の番組を録画することができます。

備考 VTR内蔵の分配器を使用していますので、電波の弱い地域の方は、アンテナブースターの接続をお勧めします。お買い上げの販売店にご相談ください。

操作 ①初めに録りたい番組の録画を始めます。(A)テレビ側の画面表示をV(ビデオ)にします。(B)VTR側のビデオ/テレビスイッチをテレビポジションにし、VTR側の選局ボタンで録りたい番組を選局すると、テレビ側で受像しますので、確認ができましたら、VTRの録画ボタンを押して録画します。

②テレビ側の画面表示を「チャンネル番号」にして、今見たい番組を選局します。

※再生するとき、(A)テレビ側の画面表示をV(ビデオ)にします。(B)VTR側のテレビ/ビデオスイッチはテレビポジションのままです。(映像・音声出力端子を使用しているため)、再生ボタンを押すと本機で再生画像が見れます。なお、VTRの機種によっては操作方法が異なる場合もあります。

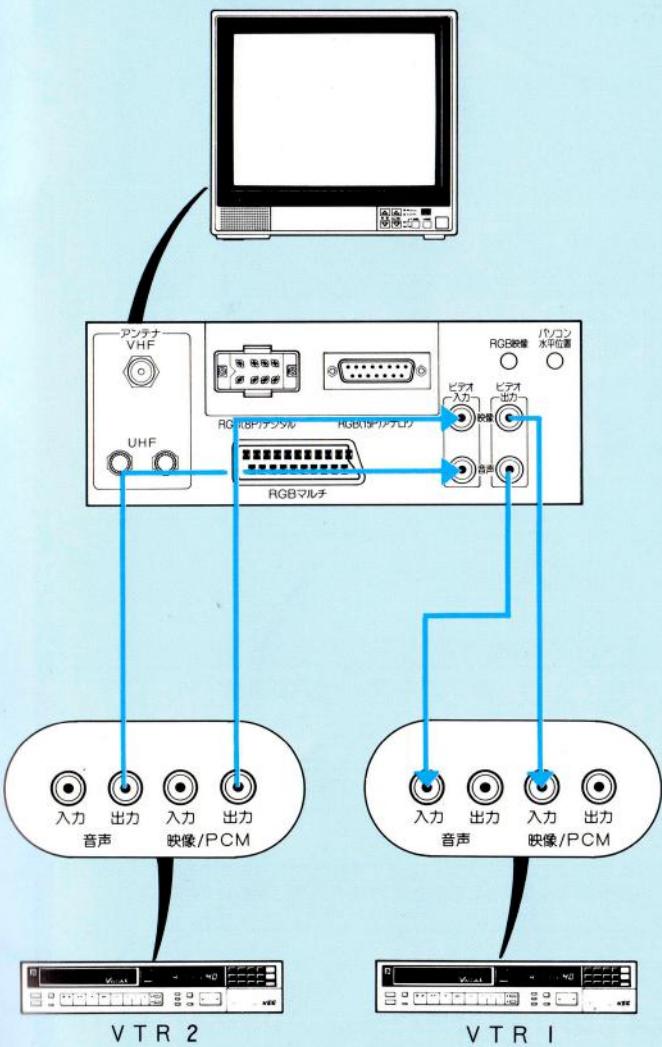
2 (本機)+(ビデオディスクプレーヤー)+(ステレオアンプ)+(スピーカーシステム)

用途 ビデオディスクの迫力ある映像と音声がたのしめます。

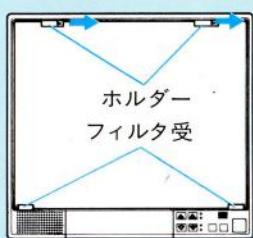
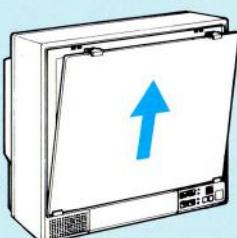
備考 この例は、ビデオディスクプレーヤーの音声信号をステレオアンプのAUX-IN (補助入力または外部入力)端子と接続しています。

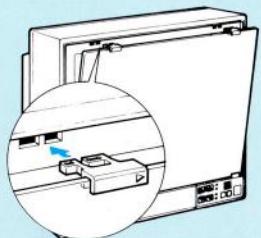
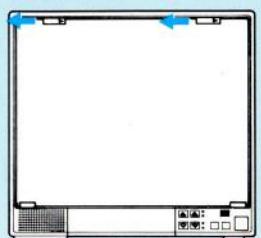
操作 テレビ側の画面表示をV(ビデオ)にします。ステレオアンプ側のファンクションスイッチをAUXに切換えます。次にビデオディスクプレーヤーにディスク盤を挿入します。なお、ディスクプレーヤーの機種によっては操作方法が異なります。

ご注意 スピーカをテレビに近づけると磁気の影響を受けて画面が色ずれをおこすことがあります。色ずれのない位置までスピーカを離してください。

3(本機)+(VTR2台)

用途 2台のVTRを使ってビデオカメラで撮影したテープを本機で確認しながら編集ができます。

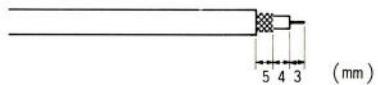
操作 ①生テープ(編集テープ)をVTR1に入れます。
②本機の画面表示をV(ビデオ)にし、VTR2に撮影済みテープを入れ再生すると本機に映りますので、録画をしたい場面が来たらVTR1の録画ボタンを押すと録画がはじまります。
③録画を止めたい場面が来たら、VTR1の一時停止ボタンを押して一時停止させます。
④VTR2は早送り等の操作をして、録画させたい場面をさがし、その開始場面の所を一時停止ボタンを押して一時停止させておきます。(長い間とめるときは、停止ボタンを使ってください。)
⑤VTR1とVTR2の一時停止ボタンを同時に押すと、その場面から録画ができます。

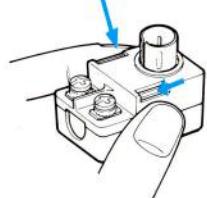
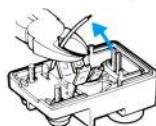
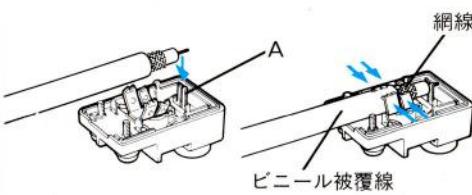
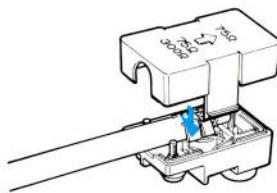
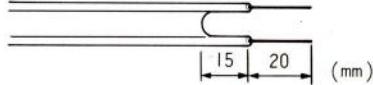
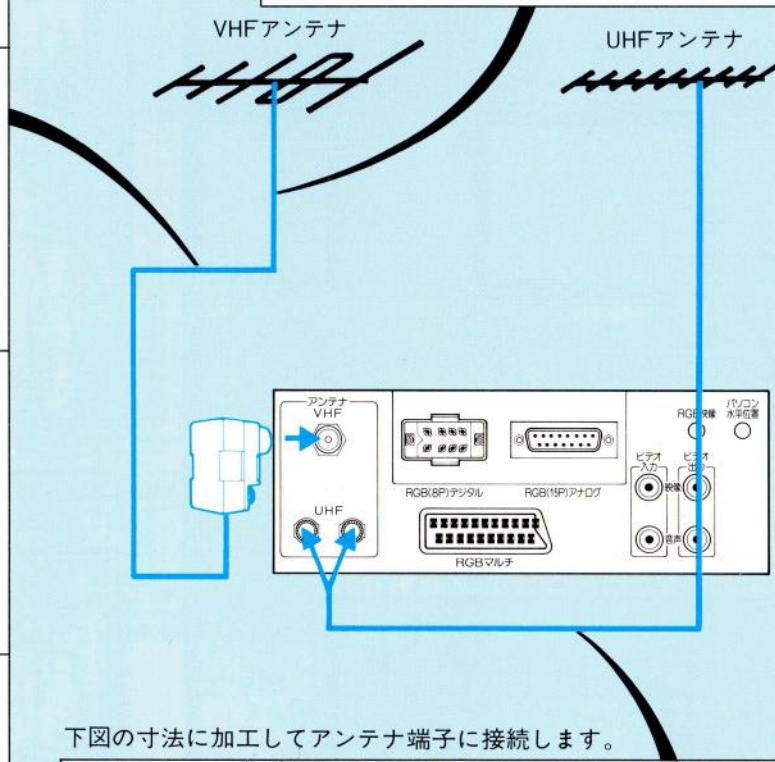
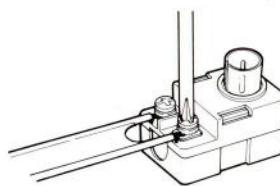
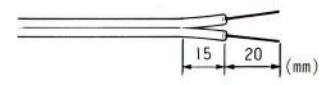
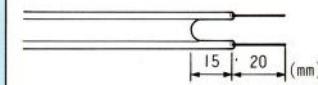
スモークドフィルタのはずしかた

▶取扱い上のご注意◀

- 取り外し、取り付けの際はフィルタを落さないよう十分にご注意ください。
- スモークドフィルタには、強い衝撃を加えたり、無理な扱いかたをしたり、雑巾等でこすったりしないようにしてください。

●取り外しかた

1 左・右のホルダーを右へスライドさせると外れます。

2 フィルタを少し手前に倒し、左右のホルダーを外した後、フィルタを上方向に持ち上げて外します。

●取り付けかた

▶フィルタをフィルタ受けに静かにのせてください。

1 ホルダーをフィルタにはめた後、左・右のミゾに入れてください。

2 左・右のホルダーを左側へスライドさせてください。固定されます。

外部アンテナ接続のしかた

▶次のようにアンテナ線の種類に合せた接続をしてください。

ご注意 コンピュータと組合わせる場合、VHFアンテナは**必ず同軸ケーブル**を、UHFフィーダ線はできるだけ**短く**してご使用ください。

▶アンテナを立てるときのご注意◀

- 美しいカラー画像を楽しむためにはカラー専用アンテナをご使用ください。
- アンテナは、妨害電波の影響をさけるため、自動車・電車架線・送配電線・ネオンサインから離れた場所に立てるようにしてください。
- 引込線はＶＨＦ用には同軸ケーブルを、ＵＨＦ用にはメガネフィーダをご使用になる方が妨害電波や天候などの影響を受けにくく、美しい画像が得られます。
- 引込線は風で動かないようにクランパー(フィーダ止め)で正しく固定してください。

規格

使　用　電　源：100V 50／60Hz

消　費　電　力：60W

受信チャンネル：VHF＃1～12チャンネル　UHF＃13～62チャンネル

ブ　ラ　ウ　ン　管：M36JJQ00X
（0.4ミリピッチ中解像度角形コーナーブラウン管）

ブラウン管の大きさ：幅284.5mm以上、高さ213.4mm以上

I C〈集積回路〉：23コ

ト ラ ン ジ ス タ：98コ

その他の半導体：65コ

ス　ピ　ー　カ：4.0cm×7.0cm……1コ

音　声　出　力：1.0W

調 整 の 方 式：色の濃さの調整……手動式
色あいの調整……手動式

入 出 力 端 子：映像入力……1Vp-p 75Ω
音声入力……0.4Vrms 47kΩ
映像出力……1Vp-p 75Ω
音声出力……0.4Vrms（47kΩ負荷時）
RGBマルチ入力端子……EIAJ21ピン

RGB(8P)デジタル入力端子…角型8ピン
RGB信号……TTLレベル正極性
水平同期信号……TTLレベル負極性
垂直同期信号……TTLレベル負極性
走査周波数……水平24.83KHz、垂直55.4Hz/56.4Hz（高解像度）
水平15.75KHz、垂直60Hz（標準）
表示時間……水平30.4μs、垂直16.11ms（高解像度）
水平44.7μs、垂直12.52ms（標準）
解像度……水平640ドット、垂直200ライン

RGB(15P)アナログ入力端子……Dサブ15ピン
RGB信号……0.8Vp-p 75Ω
水平同期信号……TTLレベル負極性
垂直同期信号……TTLレベル負極性
走査周波数……水平24.83KHz、垂直55.4Hz/56.4Hz（高解像度）
水平15.75KHz　垂直60Hz（標準）
表示時間……水平30.4μs、垂直16.11ms（高解像度）
水平44.7μs　垂直12.52ms（標準）
解像度……水平640ドット、垂直400ライン

寸 法 ・ 重 量：幅36.0cm、高さ33.7cm、奥行40.0cm、重量11.7kg

電源コードの長さ：2.1m

添　付　品：アナログRGB信号専用ケーブル……………1本
デジタルRGB信号専用ケーブル……………1本
アタッチメントプラグ……………………1コ
リモコン送信器RD-107またはRD-108………………1コ
リモコン用単3乾電池（型名UM-3）…………………2コ
イヤホン……………………………………………1コ

※この規格・意匠はお断りなく変更することがあります。
※テレビ本体の寸法表示には、ツマミ・取っ手等の突起部は含まれておりません。
※このディスプレイテレビを使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
(This television set can be used only in Japan)

この商品には保証書を添付しております。

■保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
■保証期間はお買いあげ日より1年間です(但し、カラーブラウン管は2年間です)。保証書の記載内容によりお買いあげ販売店が修理致します。その他、詳細は保証書をご覧ください。
■保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
■カラーテレビの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
■なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買いあげの販売店か、お近くのＮＥＣサービス窓口(別紙ＮＥＣサービス所在地一覧表)にお問い合わせください。

●サービスを依頼されるときは……

▶お買いあげの販売店に、つぎのことをご連絡ください。

① お名前、住所、電話番号
② 型名(このディスプレイテレビはPC-TV351型です。)
③ お買いあげ年月日〔　　年　　月　　日〕
④ 故障の状態(なるべく詳しくお知らせください。)
⑤ ご在宅の日時
⑥ お宅までの道順、目標
⑦ 保証書の有無

NEC
日本電気ホームエレクトロニクス株式会社
〒108 東京都港区芝五丁目37番8号 住友三田ビル
☎東京 (03)454－5111

78053611